

花園会地方研修大会！

☆去る七月二十一日より二日間に渡り妙心寺派九州東教区の檀家「花園会」による研修会が行われ、

正定寺からも竹下正・河野伸策様兩名に参加して頂きました。

朝早くから一心にお参りするお経声が大分萬壽寺……《別院に別府の高崎山を抱える禅

宗修行道場》……に響き渡る。

朝食は粥に梅干、食事が終わると坐禅である、初めての経験で緊張する二人。

わずかの時間が一時間にも二時間にも思える。体が少しでも動くとき警策（1m位の檜の棒）が容赦無く肩を打ちのめす。やっとの思いで坐禅が終わると次は老師による提唱（禅宗の典籍講座）むずかしい仏教語が次から次ぎえと飛びだす。……

今回の参加者は、宮崎と大分県南の妙心寺派の檀家の方が中心で、壇徒同志の意見の交換等が行われ二日間の日程を終えた、兩名とも帰途に付く時の顔は何やら仏に近づいた面持ちで正に二人に取っては菩薩行であったであろう。

※花園会……妙心寺派の檀家総べてをいう。京都本山妙心寺が、もと花園天皇の離宮が在ったので、この名称が付けられた。



◎歳廻りのお知らせ

☆十二月二十日を前後して歳廻りの托鉢を行います。

托鉢とは六波羅蜜の行です。人々に菩提寺の仏様やご先祖への供養のための乞食で、古くはインドそれも仏教以前より行われており、看板袋をざけた僧が戸別にお経を唱えながら行乞致します。

京都での修行中、毎日托鉢に出かけましたが子供さんが合掌しながら施して頂いたのが印象に残っています。

京都では、それが子供への仕付けの一つとなっていたようです。……………



托鉢

花園会堂式形新大会

◎地区世話役総代任期

満了のお知らせ

☆昭和五十八年一月より六十年十二月迄の三ヶ年間、当初総代会長の小野農一様の突然の逝去と云う波乱でスタートした総代会も二十六地区の世話役総代の方々の力添えで、延べ八回の総代会、また会長・副会長を始めとする護持会の方々には十六回の役員会に臨席して正定寺護持のため御尽力戴き有難う御座いました。

三ヶ年の間には、大般若経六百巻の購入にともない戦後わずかな参拝者でしかなかった大般若会を二ヶ年の間で三百人の方々が参拝する大法要会にして戴き。又、山林の管理と合理化を始め百坪の本堂の白蟻駆除、電気の地下ケーブルの設置等々徐々に寺院も整備さ

れ妙心寺派一等地の風格にふさわしい寺に成りつつあります。

これも偏に総代各人の菩提心に依るところであり、又各地区檀家のご支援のたまものと感謝しております。

次年度も、引き続き護持のために変わらぬ御尽力を賜りたく存じますが、寺院規則で三ヶ年を一期と定めております。

各地区とも現総代様に代わる総代の選出を御願ひ致します。

尚、現総代様には再選を妨げるものではありません。

正定寺住職

拝

永代総代

羅

拝



《總代会名簿》

会長	竹下正	竹之下地区
副会長	岡田参一	袖之原地区
全	宮下与	吹原地区
會計	工藤正幾	糞ヶ原地区
役員	小野浩伸	細川内地区
全	久保田新	大鶴地区
全	吉田寿	江内地区
監査	桜井敏彦	岸之上地区
全	富永真光	神之原地区
小	小野宗仁	内水地区
植	植田金光	上之地地区
曾	曾根田光	黒岩地区
泥	泥谷新一	羽蟻地区
大	大石幸子	萱垣地区
矢	矢野晴雄	中道地区
後	後藤辰巳	立長地区
染	染矢憲一郎	野之内地区
岩	岩崎徳孝	堂師地区

《總代会名簿》

柳井則幸	市屋敷地区
吉田喜久間	向船場地区
星野勝人	久留須地区
吉田直幸	園地区
甲斐健平	仁所倉地区
島田清	横川地区
松田昭治	神栗地区
鳴海幸太郎	尾浦地区
仲宮哲男	佐伯地区

敬称略

地区世話役数 二十七名
 檀家数 三百余戸
 大永三年（一五二三年）より四百六十年余。
 禅宗（臨濟宗）京都妙心寺派一等地を支える
 方々です。……………

『昭和六十一年度年回 表配付のお知らせ』

☆昭和六十一年度の年忌表をお配り致します。
年回（年忌）は亡くなった人の命日で、一周忌・三回忌・七回忌・十三回忌・十七回忌・二十五回忌（所によっては、二十三回忌・二十七回忌にも法要を営みます。）三十三回忌・五十回忌のことです。

本来は、百回忌・百五十回忌・二百回忌……と五十年置きに法要を行うものですが、各々の法要を営むにしても、その御先祖を知る人が存在しないという点で一般には五十回忌で一区ぎりの法要を終えてしまうのです。禅宗では、五十回忌までは板位牌（一人一人の位牌）におまつりしてその後は、繰り出し位牌（綴じ込み位牌）か過去帳位牌に戒名を書き写しておまつりいたします。命日とは、亡くなった方の冥福を祈る日で精霊が待ちわびていると云われています。

◆法要の仕方◆

▼ご法事

和尚さんを家に迎え、親族縁者を集めて供養する。

▼上法事

お寺にお参りして親族縁者で供養する。

▼観音座法要

観音経をお唱えして供養する。

▼施餓鬼法要

特別に施餓鬼経をお唱えする大法要。

▼月参り経

月々の御命日にお経を唱えて供養する。

▼理趣分経法要

年忌に関係なく、魔除・厄除け・家内安全を祈る法要。「家に和尚さんを迎えて大般若経を唱えて戴く法要」

……法要は、亡くなった方へ生きている我々が《無事に暮らしています》と云う報告の日でもあります。

《除夜の鐘》

☆大晦日の夜は、眠らぬ慣わしがあるため夜を除くの意味から除夜と云う名に成ったそう
で、

仏教では人間には百八の悩みや迷いがあり、これを救う仏様や菩薩様も百八尊おられ、除夜に突く百八の鐘はこれに因んだものです。新年を迎えるにあたり百八尊の功德を贅え同時に百八の煩惱を取り除き心身共に清浄になつて歳を越し一年の幸福を祈る日です。

衆生無辺誓願度
煩惱無盡誓願断
法門無量誓願学
佛道無上誓願成

正定寺では大晦日の夜十二時まえより、一般の方々へ鐘楼を開放して除夜の鐘を突いて戴いています。新年を前に山々に轟く除夜の鐘を自らの手で鳴らしてみませんか、それは忘れることの出来ない味わいです。

